

動画とテキストで診察と手技の「キホン」を理解！

速攻解説・基本手技②

Dr. 森本の臨床メモ

点滴・静脈確保・ 中心静脈確保のコツ

宇部興産中央病院麻酔科部長

森本康裕 著

厚生労働省

「臨床研修の到達目標」

に準拠したシリーズ構成です

▶ 一覧表示



動画視聴には、Web 医事新報
での無料会員登録が必要です。
<https://www.jmedj.co.jp/regist/>

▶ 無料会員登録画面へ

このコンテンツを読んで ワカルこと・デキルこと

- ▶ 末梢静脈確保、中心静脈確保の目的を理解して使い分ける
- ▶ 静脈確保を安全に自信を持って行うことができる
- ▶ 超音波ガイド下中心静脈穿刺を安全に行うことができる

1. 点滴・静脈確保

1. 目的

- ▶ 輸液療法の継続
- ▶ 静脈よりの薬剤の投与
- ▶ 脱水・出血時の治療

コツ／ポイント／注意点

- まず点滴の適応について確認する
- 留置する期間は？
- 輸液速度は？

ピットフォール

- 輸液の目的、期間や速度により確保する部位やカテー

テルの太さは異なる

講師からのコメント

とりあえず点滴を取るのではなく、必ず目的を頭にいれて手技に入ろう

2. 事前の準備

- ①アルコール綿
- ②静脈留置針
- ③駆血帯
- ④固定用ドレープ、テープなど
- ⑤投与する点滴と点滴セット
- ⑥針廃棄 BOX

コツ／ポイント／注意点

- 必要な物品をトレイなどにまとめて患者へ
- 穿刺前には患者に点滴・静脈確保の必要性について説明し同意を得る

ピットフォール

- 穿刺に注意が必要な患者（透析中でシャントがある、

乳癌手術の既往)を確認

- シャント側や乳癌手術後の側からは穿刺しない
- その他簡単な病歴や内服薬も確認する

講師からのコメント

- 穿刺前には準備が重要
- 患者と話をしながらリラックスしよう (患者も自分も)

3. 静脈留置針の太さ

G	色
24	黄色
22	濃紺
20	ピンク
18	深緑
16	灰色
14	オレンジ

コツ/ポイント/注意点

- 目的により使用する静脈留置針の太さは異なる
- 維持輸液目的であれば 22G で十分
- 大量輸液や輸血が必要な場合はできるだけ太い静脈留置針を使用